

2009年(平成21年)1月5日

各位

問合せ先:
エクソンモービル有限会社
広報渉外部 田所加奈/甲斐航介
TEL:03-6713-4378

本日、2009年(平成21年)始業日を迎え、エクソンモービル・ジャパングループ代表 ウィリアム J. ボガティより、従業員に向けての年頭所感を発表いたしました。以下、原文の抜粋となりますので、宜しくご参照ください。

エクソンモービル・ジャパングループ代表 年頭所感 (従業員に向けて)

エクソンモービル・ジャパングループの従業員の皆さんへ

明けましておめでとうございます。2009年が皆さんとご家族にとってすばらしい年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

昨年は、日本だけでなく世界中で景気後退の現象が見られました。石油業界においては、原油価格の乱高下をはじめとした複合的な要因により国内需要が低下しました。このような厳しい事業環境が続いていますが、私たちのビジネスをあらゆる面で改善してこられた皆さんの努力する姿を見ているので、私は、明るい展望を持って新年を迎えることができました。昨年の皆さんの貴重な貢献に対して深く感謝したいと思います。

エクソンモービル・ジャパングループが現在の地位を維持する為の鍵は、絶え間ない革新と規律ある企業活動にあり、私たちが直面する課題を克服するためには、2009年においてもこれらを徹底的に実践していかなければなりません。

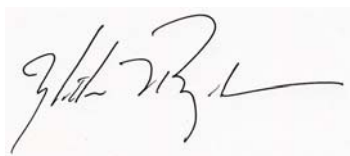
ジャパングループのすべての操業における安全とコントロールに対する重要性を再度認識していただきたいと思います。私たちの目標である「フローレス・オペレーション」の実現は一朝一夕で行なえるものではなく、規律ある企業活動に細心の注意を払いつつ、安全とコントロールを形だけでなく継続的に実践してこそ達成されるものです。

また、部署や部門をまたがった従業員の皆さんが、信頼および協力関係を築くことの重要性を認識していただきたいと思います。私たちのファンクショナルな組織の利点を活かすためには、皆さん一人ひとりが各自の仕事と他部門への相互影響を認識すると同時に、部門間の境界を越えた幅広い視野を持ち続けることが大切だと思います。今年の各事業部門の目標の多くには共通の要素があり、また部門間にまたがったものになっています。

私は、クロス・ファンクショナルな視点を持つことが、部門ごとの組織の利点を余すところなく発揮し、ジャパングループをさらに発展させる鍵であると信じています。この事を念頭に置き、私を含む

マネジメント一同、今年も皆さんとの積極的かつ生産的な議論を通して、より多くのチャンスを生み出すために努力していきます。今後も皆さんのサポートをよろしくお願いいたします。

皆さんとご家族にとって安全、健康、そして実りある年であることを願います。

A handwritten signature in black ink, appearing to read 'William J. Bogaty', written on a light-colored rectangular background.

エクソンモービル・ジャパングループ代表
ウィリアム J. ボガティ

以上